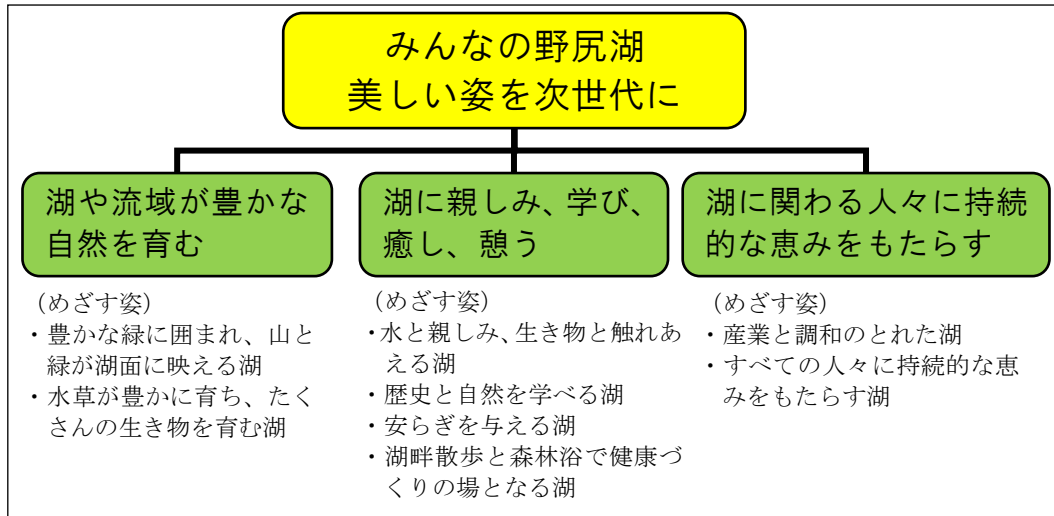


第 6 期野尻湖水質保全計画（答申案）の概要

第 6 期野尻湖水質保全計画策定専門委員会

1 野尻湖の長期ビジョン（前計画と同様）



2 水質保全に関する方針

- (1) 計画期間 令和元年度から令和 5 年度までの 5 年間
- (2) 水質目標

項 目		現 状 (平成 30 年度)	計画期間内に 達成すべき目標 (令和 5 年度)	環境基準
化学的酸素要求量 (COD)	75% 値 (mg/L)	2.1	2.0	1.0
	[参考] 年平均値 (mg/L)	2.0	1.9	—
全りん	年平均値 (mg/L)	0.005	0.005 (現状水準の維持・向上)	0.005
湖心透明度	年平均値 (m)	6.2	6.5	—

3 第 6 期計画における主な取り組み

- (1) 生活排水対策
- ・信濃町全体における生活排水施設整備率を 75% に向上させるとともに、直接流域における下水道及び農業集落排水施設への接続率の合計 90% を目指します。
- (2) 流出水対策
- ・降雨に伴い市街地等から流出する汚濁負荷を削減するため、住宅及び事業場における雨水浸透ますの設置や緑化を推進するとともに、地域住民の清掃活動等を支援します。
 - ・流域で営農している農業者に対し適正施肥に係る技術指導を行うとともに、エコファーマーの認定など、各種制度の普及を図り、環境にやさしい農業の地域ぐるみの取組を推進します。
 - ・森林等の自然地域の持つ多面的な機能を高度に発揮させるため、今後も必要に応じて間伐等の維持管理に努めます。
- (3) 調査研究の推進と活用
- ・水草復元の兆しが見られることから、引き続き水草の生育状況についてモニタリングを実施するとともに、野尻湖における水生植物のあり方等に関する研究を進めます。
- (4) 環境学習の推進及び環境保全意識の啓発
- ・野尻湖クリーンラリー等、環境学習を一層推進します。
 - ・魅力的な自然体験プランの設定と情報発信により、野尻湖の特性を活かしたエコツーリズムを推進し、環境保全意識の向上を図ります。
 - ・湖辺の景観保全を含む様々な環境保全活動を支援します。